

我が老を老とし、人の老に及ぼす

2010 MAY

vol. 37



社会福祉法人

ELDERS

# 年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : [elders@nifty.com](mailto:elders@nifty.com)



発行者	芳賀 歳壽
編集者	笠井 理絵
住所	北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1 TEL (093) 652-3939 FAX (093) 652-3999

## 正寿園&デイケアセンター リニューアルオープン!



← 正寿園ロビー



平成21年9月より改装工事を進めておりました介護老人保健施設「正寿園」及び、併設の通所リハビリテーション「正寿園デイケアセンター」でございましたが、無事に工事を完了し、12月初めに、リニューアルオープンをすることができました。ご利用者の皆様をはじめ、ご家族の方々、またその他関係者の皆様には、ご迷惑をおかけし、また、ご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

リニューアルによる施設設備の充実はもとより、ご利用者の皆様に、安心して、ご満足頂けるサービスの提供に今後一層、努めてまいります。

「正寿園」は、主に内装を一新し、また居室と食堂の動線の改善、個室の増床、ロビー、相談室の充実等の改修を行いました。

「正寿園デイケアセンター」は、以前は3階にあった場所を1階に移設。内装も一新し、シックでありながら、間接照明やLEDを使った様々な飾り照明による、キラキラとして明るい空間を演出しています。また、リハビリルームを広く開放的なものにし、浴場を個別浴を採用するなど、皆様によりご満足頂け、明るく、楽しく、お元気に通って頂けるようなセンターとなりました。

皆様、是非一度ご見学下さい。

## 入居条件を一新致しました!

自立から要介護5の方まで

# パレス八幡

住宅型有料老人ホーム

介護ヘルパー派遣付・訪問診療付・訪問看護有

ケアホテルのような設備で、自分らしい自由な暮らしをあなたに。

自立から要介護5の方までご安心頂けるよう、24時間スタッフが常駐しており、また全室緊急コール付で日常生活の支援が必要な方にもご安心頂けるよう総合的なサービスに取り組んでおります。また、必要に応じて訪問診療も行っております。

見学等、随時受け付けております。まずはお気軽にお電話下さい。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



お問い合わせ

TEL (093) 652-3600

担当者:井上、局、下崎



正寿園デイケアセンター エントランス



正寿園デイケアセンター(デイルーム)



リハビリテーションルーム

## 年長者の里 いきいき福祉講座

10月15日、いつもの毎月第3木曜日に、「いきいき福祉講座」の第107回を開講しました。今回は少し趣向を変えて、皆様に朗読劇を楽しんで頂くこととなりました。朗読者は、「劇団青春座」の荒木 喜三太様、演目は松本清張作『無宿人別帳 左の腕』を朗読して頂きました。講座参加者も80名を超え、会場は満員。迫力と臨場感のある朗読に、ご参加の皆様も感激しておられました。

劇団青春座は、現在、演出家の井生定巳(いおうさだみ)様が代表をしておられます。小倉に生まれ育った井生様が帰郷し、青春座に昭和40年入団。あくまで街の劇団として、北九州で、北九州に因んだ物語を北九州市民が演じてきたというこの青春座は創立65周年を迎えました。そんな中、今回講座に参加された、ケアハウス八幡にご入居の藤達様は、実は青春座の一期生ということで、今回の公演に大変感動しておられました。主催側も皆様に喜んで頂けて大変嬉しく思います。

※ 朗読劇の出前公演を平成22年3月末まで無料で受け付けておられます。お問い合わせ:093-922-4995 井生様迄



左から 荒木様・藤達様・井生様





## 和田啓子先生より絵の寄贈

当法人の元理事であった和田啓子様より、迫力満点の墨絵を寄贈して頂きました。大蔵園の1階から21世紀館への渡り廊下に掛かっている壺一枚ほどの絵に、驚かれた方も多いのではないでしょうか。



山水画のイメージがガラッと変わるような力強い絵です。

30年ほど前に、ご主人が中国に旅行された際に、旅の記念にと購入されたものだそうです。遠景の山々と手前の山の風景が大変気に入っていらっしゃるそうです。

和田先生は、元小学校の校長先生で、山の口小学校の校長時代には、その熱心な教育への取り組みが評価され、マスコミにも多く取り上げられた方です。退職後も、北九州市において多方面で大活躍されています。和田先生にはこの場を借りて、改めて感謝申し上げます。まだこの絵をゆっくりとご覧になっていない方、是非一度足を止めて、この絵から受ける山里の空気を吸ってみませんか？

## わがまちの地域福祉と福祉経営 19

### 商業の再生で雇用を

西日本工業大学 工学部 総合システム工学科  
教授 皆川 重男



#### ■パリのアーケードに学ぶ

現在の北九州市の街を歩くと、人に元気がないように、街にも元気がないように思われます。特に、商店街は空き店舗が多く、シャッター通りと呼ばれるのがおかしくない状況です。その上、商店街に隣接していた中・小の商業店舗も、閉店するところが多く市街地の衰退に拍車をかけています。

パリの市街地に「パサージュ」と呼ばれる空間があります。産業革命に伴う技術の進歩と価格下落で、鉄骨建築やガラス屋根を造ることが可能になりました。1788年パリの中心、バレ・ロワイヤルにオープンした「ギャルリー・ド・ボア」が、最初と言われています。1820年代に入ると、日本のアーケードのようなガラス屋根で覆われた「パサージュ」が数多く出現しました。その多くは今も現役で、ブランド店が多く紳士淑女の買い物の空間として賑わっています。

八幡東区のアーケードは、これにあやかって「コスモ・パサージュ」と名付けられました。ミラノの「ガレリア」もパサージュの親戚です。欧米で建設されたパサージュが、150年以上も活躍しているところに、街の活性化の鍵があると私は思っています。

#### ■内需拡大を新たな視点の建築で

1990年(平成2年)にバブルが崩壊しました。崩壊後も日本の経済(国内総生産:GDP)は、拡大を続けました。それを支えたのが輸出で、北九州市内の工場で生産された鉄鋼、ガラス、化学製品などは、製品として又自動車に形を変え世界中に輸出されました。成果の配分に課題があったのか、経済成長の恩恵は市民には実感されず、生活の豊かさを感じることは出来ませんでした。

野村総合研究所のリチャード・クー(主席研究員)氏によれば、「日本の建物は建築市場では15年ではほぼタダになる。既に446兆円も失ってしまった。建物を(家庭電化製品のような)耐久消費財と考えず、欧米のように価値を生み出す資本財とすれば、地方はよみがえる」と指摘しています。発想を変えて、立替えの必要ない住宅や店舗をリフォームすれば、内需は拡大するし、公共事業に頼る関係業界も仕事が増加します。

#### ■商業人材の育成で雇用拡大を

商店街の商業施設が整備されると、そこで経営し働く人材の育成が急務になります。雇用拡大のための能力開発・職業訓練プログラムには、パソコン(情報)、生産技術、建

# 平成22年 仕事始め式

平成22年1月4日(曜日) 本年も恒例の仕事始め式を行いました。職員一同に本年の抱負も込めて、理事長より新年の言葉を頂きました。

明けましておめでとうございます。昨年は劇的な政権交代がありました。以来、私はテレビを観る時間が大幅に増えています。期待をしたいが、よちよち歩きの新民主党、よたよたの自民党。テレビが大変に面白い。政治への興味が大きくなりました。

#### 〈国の大借金体質〉

国の大借金体質と人口減少で、日本は怖い時代を迎えています。昨年4月の定額給付金、今年からは子供手当が始まります。ばら撒きがあっても、買収されることはありません。国民は賢明であります。

国債残高は5年以内に1000兆円を超えます。国の借金は返済不可能な大借金となっています。この大借金の為、財政が破綻し、私共の介護も医療も押し潰される恐怖を感じます。議員の先生方、「国民の安心の拠り所・社会保障・介護の充実と将来の成長戦略」をしっかりとお願い致します。

#### 〈人口減少問題〉

次に、少子高齢化・人口減少問題です。「年寄りは増え続け、子供は著しく少なくなります。」北九州市は、4人に1人が高齢者という「本格的な高齢社会」を迎えています。

全国で100歳以上が42,000人も!これだけ高齢者が増えると日本では「一人前の高齢者は90歳から」となってきました。皆さんは90歳にはまだ相当な年数がありますね。これは大変明るい事実であります。

#### ・千両百の里仕事始



#### 〈心理的報酬が大切〉

正月3日、重淵会頭(北九州商工会議所)にお供してゴルフを致しました。思い通りになりません。ゴルフも人生と同じで、何度も何度も失敗を繰り返すゲームだと改めて思い知りました。凡人の私は失敗から学ぶ事は難しい。小さな握り、心理的な報酬がゴルフでも仕事でも熱心に懸命にさせるのだと思います。小さい成功・心理的な報酬が生き甲斐をもたらす。自分の値打ちの小ささを改めて思い知りました。

#### 〈返事千両・笑顔万両〉

昨年は経済不況と新型インフルエンザの流行等、多難な年でありました。1月4日の製鉄所の年賀で、「鉄は元気が持っている」との八幡製鉄所の明賀所長の念頭挨拶に力付けられました。「笑う門には福来る」・「返事千両・笑顔万両」と申します。

新年が「景気回復、福祉充実」のより良い年と成りますよう、皆様のご多幸をお祈り申し上げ、意を尽くしませんがお挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願い致します。



設技術関係は豊富ですが、流通・商業分野はほとんどありません。店舗戦略、品揃え、販売技術、顧客・商品管理、販促等マーケティングなどが出来る人材を育成する必要があります。

一応の知識を持つと、後は実地研修です。実際に商店街の店舗で研修します。多くの後継者のいない商店では、将来の独立した経営者、店長になることも可能です。街を元気にするには、発想転換が必要です。

#### ■空き店舗を無くし雇用を

若者の失業が増えています。市

内の商店街には600店舗を超える空き店舗があり、年々増加しています。広い視野に立って、新たな投資を誘発して小売商業を立て直し、雇用を拡大すること。クー氏が指摘するように「立替えの必要ない住宅」の建設・リフォームを促進する政策を実施する。北九州市域で、総合的に取り組むことで、域内の経済循環が活性化するモデルが描けるのではないのでしょうか。再び、元気な北九州市、八幡を取り戻したいと願っています。



# 心温まるお手紙

昨年9月末に、ご結婚の為に退職されたケアハウスの元職員 原さんから、心温まる感動のお手紙を頂きましたのでご紹介します。



4年前に年長者の里に入社した時は、まさか退職する日が来るとは予想もしていませんでした。私は愛知県で生まれ、長野県で過ごし、石川県の学校へ進学しました。そんな私がなぜ北九州で就職することになったのかと言えば、私が卒業した年は、やや景気は上向きかかっていたとはいえ、新卒者は売り手市場には程遠い時期でした。けれど、たまたま受かったところがここだった…というわけではなく、『年長者の里でしかやれないこと』というのがあったからです。まず入社してからは正寿園、ケアハウスで体当たりの介護サービスの現場に突入しました。自分の言葉一つ、態度一つで入居者の方が感じるものは違ってきます。それを体を張って教えてくれたのが正寿園、ケアハウスの入居者の皆様でした。思うとおりのサービスを提供できていなかったことも多かったと思います。でも最後、「原さんがい

なくなると困る」と言って下さったこと、本当にうれしかったです。職員のつながりというのも強く感じました。最後、フェリーの港まで見送りにきてくれました。最後に待合室で一緒に食べたお弁当とっても美味しかったです。この度、縁あって結婚することになり、滋賀県で新居を構えることになったのですが、思い返す度に、この年長者の里に入社して良かったと思っています。結婚式で、結婚宣誓書を読み上げたのですが、私の希望で年長者の里で学んだ「気づきと思いやり」という言葉を入れさせて貰いました。これからは主人と二人お互いを思いやって楽しい家庭を築いていきたいと思えます。お世話になった入居者の皆様、職員の皆さん、本当にありがとうございました。

2009年11月 滋賀県彦根にて  
北田彩加 (旧姓 原)

## ドクターよりひとこと 20

### 新型インフルエンザ 第2弾

年長者の里 たつのおとしごクリニック  
耳鼻咽喉科 森尾 崇



昨年は新型インフルエンザの感染が拡大し、その話題で騒然となった。中には死亡者まででたが、大半は基礎疾患(持病)を抱えていた人であった。糖尿病、喘息、人工透析を必要とする腎臓病などである。しかしながら、高齢者や乳幼児、妊婦には注意が必要だ。日頃、健康な人は通常のインフルエンザの経過で治癒する。幸い抗ウイルス剤が効果があることが分かっている。抗ウイルス剤のタミフルと解熱剤を内服し、自宅安静で滋養をつければ一週間ほどで軽快する。未知の疾患で不安もあるだろうが、大げさに騒ぎ立てる必要はないと思う。今から約90年前の大正7年から9年にかけて、世界中でスペイン風邪(インフルエンザの一種)が猛威をふるった。日本では39万人~45万人の犠牲者が出た。八幡東区在住の老医師の証言が医報に載っ

ていたので紹介したい。「外来に患者が押し寄せたが、現在のように特效薬がなく、用意していた解熱剤(アスピリン)の包みを渡すくらいしかできなかった。それでも立ったまま握り飯を食べるくらい多忙を極めた。最初にスペイン風邪に罹り、医院を閉めた所の人々は生き延びたが、診療を続けた所の人々は次々と病に倒れた。」と綴っている。スペイン風邪の流行は、新型インフルエンザと類似したものだ。こういった流行病に対処する為に重要なことは、予防(手洗い、うがい、不要不急の外出を控える)と、熱発時・感染が疑われる時の対応、早期受診である。皆さんの良識が、今、問われている。今後、また新たなウイルスが流行しても冷静になって行動して欲しいと思う。



## 祭 年長者の里 2009 夏の報告 祭



### 7月1日 杉の実保育園児と七夕の飾りつけ

♪♪笹の葉さーらさーら♪♪  
今年も杉の実保育園から、小さなお友達が七夕の飾りつけのお手伝いに来てくれました。色とりどりの短冊にお願いごとを書いて、ご利用者の皆様と一緒に飾り付けを楽しみました。飾り付けの後は、保育園の夕涼み会に向けて練習中の「ソーラン節」のプレゼント!! 思わず笑顔がこぼれるひとときでした。



### 8月2日 わっしょい百万夏祭り2009百万踊り

「悲願の初入賞 ユーモア賞」  
高福協(社団法人 高齢者福祉事業協会)の一員として、年長者の里からも職員約40名が参加。今年から、服装もお揃いの法被以外は自由と、より気軽に参加できるようになりました。そのせいか、全体で378名という大所帯が目にとまったのか、はたまた若手中心の被り物の衣装が良かったのか、予想外のユーモア賞受賞! ハッピーエンドで、花火見物をしながらの乾杯も格別でした。



### 8月14日 年長者の里 納涼祭

今年も里は大賑わい! 大蔵3丁目第一町内会(友澤会長)の盆踊り大会と共催で、第7回納涼祭を開催いたしました。前日は雨で、お天気が心配されましたが、当日は絶好の祭り日和となり、約1000名のお客さまをお迎えすることができました。ご多忙の中、北橋市長夫妻も駆けつけてくださり、早速、太鼓に合わせて「燃えろみんなの北九州」の踊りの輪に飛び入り参加。祭を盛り上げて下さいました。また、昨年大好評の 小倉祇園太鼓「蔵」を今年もお迎えして、体の中まで響き渡るような勇壮な演奏と華やかな銀打ちを楽しませて頂きました。このような地域交流の場を毎年持つことができるのも、ご利用者をはじめ、ご家族そして地域町内会の皆様のご協力とご理解のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。来年も楽しい企画で、夏の里の夜をたくさん笑顔でいっぱいになりたいと思います。どうぞご期待ください!





# いきいき広場

— Let's enjoy life in elder's hometown —

## 第15回 ボランティア感謝の集い

今年も大谷会館にてボランティア感謝の集いを開催いたしました。年長者の里には、年間延べ約3,800名のボランティアが来て下さいます。

当日はそのうちの38の団体及び個人の方を含め、約210名の方のご参加により、盛会となりました。芳賀理事長より日頃の活動に対する感謝の言葉とともに「一人前の高齢者は90歳から。長寿を謳歌したいものです。」という話がありました。

また、3年以上の活動歴がある個人及び団体に感謝状を贈呈致しました。受賞された方々からは、「家族が施設を利用したときのご縁から、自分の楽しみとして続けています」「自分たちの会の活動を知ってもらいたいとの気持ちから始めた活動を評価していただき望外の喜びです」「年長者の里は、私にとって幸せの里です」など、心のこもった謝辞をいただき、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

懇親会では、恒例の福引大会などを行い、あっという間の時間でした。

これからも、多くのボランティアの皆様にご支援頂けるような「里づくり」をしていきたいと、幹部職員一同が思いを一つにする時間でした。

当日ご欠席のマナ・アロハ・ジャパン様には、後日感謝状をお渡ししたのですが、贈呈式の際に、活動時と同じようにドレスアップしてきて下さいました。改めてサービス精神に脱帽致しました。

ご多忙中、ボランティアの皆様をねぎらいに駆けつけてくださった北橋市長はじめ、多くのご来賓の方々にもこの場を借りてお礼申し上げます。

第15回 感謝状 被授与者 個人および団体

- 個人の部 前田宗徳様
- 団体の部 歌え門一座様 鳴水水神会様 英歌謡教室様 マナ・アロハ・ジャパン様



## 第10回 介護保険推進全国サミット in北九州

10月29日・30日に、第10回目を迎える介護保険推進の全国サミットが今年、北九州市で開催されました。

「介護保険、今日とこれから」と題した今回のサミットでは、「高齢者がいきいきとその人らしく、安心して暮らせるまちをめざして」をテーマに、基調講演に加え、地域包括ケアや認知症、介護人材の諸問題等の現状や課題、今後のあり方についてのパネルディスカッション等が行われました。

当法人の芳賀祥泰専務理事が、「質の高い介護サービスを安定的に提供するために」と題した分科会のパネリストとして参加され、コーディネーターは、田中滋氏（慶應義塾大学大学院教授）で、パネリストは、堀田聡子氏（東京大学社会科学研究所特任准教授）と田中雅子氏（社団法人日本介護福祉士会名誉会長）、オブザーバーは中村秀一氏（社会保険診療報酬支払基金理事長）と錚々たる顔ぶれ。会場には全国から多くの聴講者が詰めかけました。質疑応答の際には、芳賀専務に対して、マネジメント論に関しての熱心な質問がされる等、活気に溢れていました。



## NTTユーザ協会電話対応コンクール'09

### 北九州地区大会 準優勝!!

#### 本部 久和尚子さん

本年度も、夏から秋にかけて、電話対応コンクールが、開催されました。当法人から3名が参加。テーブル審査を通過したのは、本部・秘書室の久和尚子さんのみでした。9月10日に行われた北九州地区大会には、テーブル審査を通過した市内の様々な企業から35名の方が参加。当法人代表となった久和さんは、全く緊張した様子もなく、堂々とした対応で、ホテルの営業役をこなしていました。結果は、見事に準優勝!!天晴です。その後、10月9日の福岡県大会へと進み、県内61名の参加者の中、残念ながら県大会での入賞は逃しましたが、大変立派な成績を修められました。



久和さん、お疲れ様でした。今後も、大いに業務に活かして頂ければと思います。そして今後も積極的にこういった機会を利用して、法人全体のサービス向上に繋げられればと思います。また、熱心にご指導を下さりました当法人のマナー講師である重松照代先生に紙面をもって感謝申し上げます。

## 衆議院議員 城井 崇様・緒方 林太郎様 ご来訪

昨年8月に行われた第45回衆議院議員総選挙において、北九州市に、お二人の若い代議士が誕生しました。福岡10区で当選された城井崇様は、第43回の総選挙で初当選。今回、4年間の長い浪人生活にピリオド打ち、再び衆議院の場に再び咲かれました。この城井様は、当法人の理事をされており、年長者の里とは大変ご縁の深い方です。

またもうお一方、福岡9区で当選された緒方林太郎様は、出馬前より、当法人において、配膳などのボランティアを何度もされております。そのご縁のあるお二人が、当選後、それぞれ、年長者の里にご来訪されました。今後、この若いお二人のご活躍を祈念するとともに、高齢者福祉への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 編集後記

2010年の幕開けから、もう早いもので春が訪れつつあります。やっぱりこの季節はとてワクワクしますね。年度末そして新しい年度を迎える弥生の月ですから。私も早いものでこちらに就職致しまして丸二年を迎えます。日々、業務を覚えていく中で、職員同士のとても良い人間関係に励まされ続けられることができています。そんな私は、丸2年の御礼も兼ねて、ここ8年以上続けてきた小倉祇園太鼓をご利用者様に楽しんで頂く為にボランティアをさせて頂きました。大学のサークルの後輩陣が2月21日の日曜日に来てくれ、ご利用者の皆様にも大変喜んで頂けてこちらもとても嬉しく思いました。今後とも、ご利用者の皆様楽しんで頂けるよう、微力ながら業務及びボランティアにと頑張らせて頂きます。

(企画・秘書室長 笠井理絵)

